

クレディ・アグリコル証券 アジア開発銀行発行の「ウォーター・ボンド」でアレンジャーに

[東京 2014年8月5日] クレディ・アグリコル証券会社東京支店(所在地:東京都港区、代表者:ミッシェル・ロワ)は、アジア開発銀行が発行する「ウォーター・ボンド」のアレンジャーを務めました。アジア開発銀行「ウォーター・ボンド」を通じて調達された資金は、アジア・太平洋地域の様々な水関連プロジェクトに利用されます。

クレディ・アグリコル証券会社東京支店がアレンジをするアジア開発銀行「ウォーター・ボンド」はニュージーランドドル建、期間約5年物であり、マネックス証券株式会社(<https://www.monex.co.jp/>)を通じて国内投資家に販売されます。

クレディ・アグリコル・グループでは、社会的責任投資(SRI: Socially responsible investment)をグループ経営の最重要項目の一つとみなしております。今後もお客様と社会のニーズに応えるサービス・商品の提供を通じて様々な分野で社会に貢献することを目指してまいります。

<2019年8月27日満期 ニュージーランドドル建債券 (ウォーター・ボンド)の概要>

発行体:	アジア開発銀行
利率:	4.18%(課税前)
売出期間:	2014年8月5日~8月26日
発行日:	2014年8月26日
利息発生日:	2014年8月27日
利払日:	毎年2月27日及び8月27日(年2回)
売出人:	マネックス証券株式会社

アジア開発銀行について

アジア開発銀行のビジョンは「貧困のないアジア・太平洋地域」であり、その使命は、開発途上加盟国が貧困を削減し人々の生活の質を改善できるように支援することです。近年アジア諸国は高い成長を続けていますが、世界の貧困層の3分の2がアジア・太平洋地域に居住しており、1日2ドル未満の生活費での生活を余儀なくされている人口が16億人、うち7億3300万人が1日1.25ドル未満で暮らしています。アジア開発銀行はインクルーシブな(全ての人々に恩恵が行き渡る)経済成長、環境的に持続可能な成長および地域統合を通して、貧困を削減することを約束しています。アジア開発銀行は、本部はマニラにあり、67の加盟国(うち48ヶ国はアジア・太平洋地域)により所有される国際開発金融機関です。ビジョンを達成するための主な手段は、政策対話、融資、出資、保証、グラントおよび技術協力です。

クレディ・アグリコル CIB について

クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(クレディ・アグリコル・CIB)は、資産および自己資本(Tier1)ベースで世界最大手の金融グループであるクレディ・アグリコル・グループの法人営業・投資銀行部門です。日本においてはクレディ・アグリコル証券会社、クレディ・アグリコル銀行として、多様な金融商品・サービスを提供しています。

各国の国内金融や国際金融に精通したクレディ・アグリコル CIB は、ファイナンス、ブローカレッジおよびキャピタル・マーケット業務を展開し、広範囲に渉る金融商品やサービスを日本および世界各国のお客様に提供しています。なお日本においては、クレディ・アグリコル証券会社は日本国債のプライマリーディーラーを務めています。